

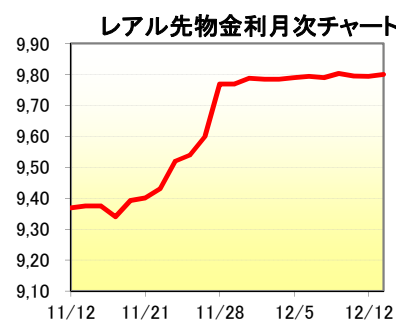
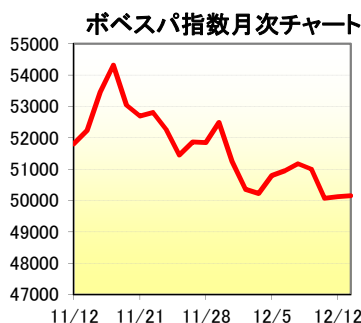
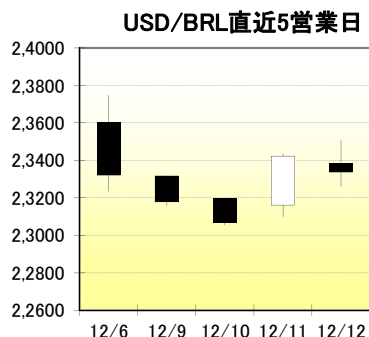
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3180	2,3080	2,3420	2,3430	2,3350	-0,0080
	USD/YEN	Spot	103,31	102,79	102,48	103,23	103,16	-0,0700
	EUR/USD	Spot	1,3704	1,3763	1,3763	1,3787	1,3744	-0,0043
	BRL/YEN	Spot	44,59	44,56	43,76	44,23	44,26	+0,0300
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,51	1,53	1,52	1,51	1,41	-0,0912
		1Year(p.a.)	1,89	1,89	1,88	1,85	1,80	-0,0495
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,24	10,23	10,21	10,19	10,22	+0,0300
		1Year(p.a.)	10,54	10,52	10,46	10,44	10,47	+0,0304
Stock	Bovespa		51.141	50.993	50.068	50.122	50.051	-70,82
Bond	CDS Brazil 5y		192,56	185,89	182,85	186,66	179,39	-7,2750
	Global 40		113,250	113,750	113,750	113,925	113,900	-0,0250

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
経済活動(前月比)	0.50%	0.77%	0.01%	なし
経済活動(前年比)	2.34%	2.74%	3.33%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はU\$1=R\$2.3320で寄り付いた。
- 週初は中国の11月貿易黒字がこの4年余りで最大となったことが好感され、コモディティ通貨の買いが見られるとレアルも買いが優勢となり、2.31台後半まで買われた。
- 翌10日には特段材料に欠ける中、大口の資金流入の噂からレアルは買いが優勢となり、週間高値となるU\$1=R\$2.3050を付けた。
- 週央には利益確定と思しき動きが見られたほか、米上下両院の財政協議の交渉当事者が強制歳出削減を緩和し、政府機関の再度閉鎖回避で合意したことを受け、米金融当局が緩和縮小に踏み切る可能性が高まったことからドル買いが見られ、レアルは一気に2.3300まで反落した。
- 更に翌11日には米小売売上が予想を上回る結果となったことから米資産購入縮小懸念が強まり、レアルは一気に2.34台後半まで反落した後、週間安値となるU\$1=R\$2.3510まで下値を拡大した。
- 週末にかけてレアルは2.32台後半まで買われる場面が見られるも、来週の米FOMCを控えてポジション調整と思しき動きが見られると2.33台後半まで売り戻され、結局U\$1=R\$2.3350で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたもので、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department

5. 来週発表される主要経済指標

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



日付	イベント	期間	予想	前回
12/16	税収	Nov	--	100999M
12/16	貿易収支(週次)	Dec 15	--	-\$275M
12/16	登録雇用創出合計	Nov	--	94893
12/17	CNI産業信頼感	Dec	--	54.5
12/18	FIPE CPI-週次	Dec 15	--	0.45%
12/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Dec	--	0.30%
12/19	失業率	Nov	5.0%	5.2%
12/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Dec	0.64%	0.57%
12/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Dec	5.73%	--
12/19	経常収支	Nov	--	-\$7132M
12/19	対内直接投資	Nov	--	\$5362M
12/19	ブルームバーグ 12月 ブラジル 経済調査			
12/19	長期レート	Dec 19	--	5.00%
12/20	FGV消費者信頼感	Dec	--	112.8
12/20	FGV建設コスト(前月比)	Dec	--	0.27%
12/20	ローン残高(前月比)	Nov	--	0.5%
12/20	融資残高	Nov	--	2610B
12/20	個人ローン・デフォルト率	Nov	--	6.8%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.30-2.40

今週のレアルは 2.30 台まで買い戻されるもレアル高トレンドは長続きしなかった。米強制歳出削減が緩和されたほか、継続的に経済指標の改善が見られたことから来週の米 FOMC で米資産購入の減速が開始される可能性が高まり、ドル買い圧力が強まった。多くのエコノミストは来年の 3 月に米資産購入減速が開始されると予想しているが、良好な経済指標の結果から今月にでも発表されるリスクもあり、市場では FOMC の動向に神経質となっている。米 FOMC が開催されるまでは様子見モードとなる投資家が多く見られる可能性があり、ややドル高傾向となろう。来週は米 FOMC が大きく注目される一方、国内では失業率などの重要な経済指標を控えており、結果次第ではレアル相場のボラティリティーが高まる可能性があるため、引き続き注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department